

科目名		建築設備CAD設計Ⅱ				
担当教員		多田 剛史		実務授業の有無		
対象学科		建築設備システム科	対象学年	2 年	開講時期	前期（通年）
必修・選択		必修	単位数		時間数	4 8 時間
授業概要、目的、 授業の進め方		1. C A D を使っての作図練習及び操作習得簡単な形状の設計ができるようになる。				
学習目標 （到達目標）		さまざまな設備図面のトレース作業を通して内容を理解し、最終的には簡単な設計ができるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		プリントにて必要な文献・資料・課題を配付する。				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	図面を描く ①給排水衛生設備図			方法：プリント等の教材を使って説明し、作図演習。 ①の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：配布プリントの予習とCAD操作の練習		
2	図面を描く ①空調換気設備図			方法：プリント等の教材を使って説明し、作図演習。 ①の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：配布プリントの予習とCAD操作の練習		
3	図面を描く ①屋内配線図			方法：プリント等の教材を使って説明し、作図演習。 ①の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：配布プリントの予習とCAD操作の練習		
4	図面を描く ①機械室配管図			方法：プリント等の教材を使って説明し、作図演習。 ①の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：配布プリントの予習とCAD操作の練習		
5						
6						
7						
8						
9						
10						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
課題提出	出欠席・授業態度等			CAD操作をしっかり身につけるために、最初は確実に基本を固め、操 作に慣れた段階で後半には応用力をつけてスキルをを上げる。個人作 業が主体で、レベル差が出やすいので、適宜個人指導も行う。		
80 %	20 %	%	%			
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						